

サポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)活用促進セミナー

～中小企業が取り組む技術力向上のための技術開発やIoT・AIを活用した技術開発を支援します！

経済産業省北海道経済産業局では、中小企業が取り組む技術力向上のための技術開発やIoT・AIを活用した技術開発を支援するため、「サポイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）」を実施しています。

本セミナーでは、道内中小企業による「サポイン事業」の活用促進を目的として、「**サポイン事業とは何か？**」を知っていただくだけでなく、**申請に係る提案書作成のポイント**や**活用事例**をご紹介します。

概要

●日時 平成30年 **3月5日(月)** 15:00～16:30

●場所 函館市産業支援センター
(函館市桔梗町379番地32、函館テクノパーク内)

●内容

1. サポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)について

説明者：経済産業省北海道経済産業局 産業技術課

2. サポイン事業申請のための提案書作成のポイント

講師：(独法) 中小企業基盤整備機構 北海道本部 経営支援部長 松尾 一久 氏

3. サポイン事業活用事例

◇サポイン実施者が語る「提案の苦労～成果の喜び」

講師：株式会社システムスクエア(新潟県長岡市) 取締役開発本部長 小林 幸太郎 氏

※平成24年度サポイン事業採択

研究開発テーマ「画像処理による鮮魚用小骨検査システムの開発」

●参加費 無料

●定員 50名(参加申込先着順)

●主催 経済産業省北海道経済産業局

●申込方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、3月1日(木)17:00までにFAXでお申込みください。

お問合せ先

開催事務局：株式会社北海道二十一世紀総合研究所 調査研究部〔担当：有我・小山〕
060-8640 札幌市中央区大通西3丁目11番地、北洋ビル
TEL(011)231-3053、FAX(011)231-3143

事例発表企業のご紹介

■ サポイン事業活用事例 ◇サポイン実施者が語る「提案の苦労～成果の喜び」

◆ 講師 株式会社システムスクエア（新潟県長岡市） 取締役開発本部長 小林 幸太郎 氏

【企業概要】

同社は、1989年（平成元年）に創業し、電子応用機器の設計、パターン認証機器、画像処理システム等の開発に取組み、ノウハウを集積し、異物検査機分野に経営資源を集中。

1999年（平成11年）に磁界センサーによる金属検査機を完成。金属以外の異物検出にも取組み、2004年（平成16年）にX線検査機を開発。食品製造においてトレサビリティ強化、検査履歴保存等が要求される中、検出結果をモニター確認できる各種製品を製造。また、アルミパウチ包装材の普及に伴い、光学画像とX線画像を組合せ、包装体と内容物の位置関係を把握できる画期的製品を開発し「かみこみ検査機」として2011年（平成23年）に販売開始した。またデザイン性を重視し5機種でグッドデザイン賞を受賞。これらのオンリーワン製品で業界シェア第3位。

食の安心安全がますます重要視される中、国内はもとよりアジア諸国への輸出が拡大、顧客ニーズに応え特殊仕様・カスタマイズに対応すると共に多くの特許を取得。食品中心から医薬・工業系異物検査装置の開発に挑戦。

●主要製品群



金属検出機

X線検査機

かけこみ検査機

オートチェッカー

選別機

●サポイン事業に採択された研究開発の概要

・研究開発テーマ：「画像処理による鮮魚用小骨検査システムの開発」

鮮魚の残骨検査を目的に、東北大学大学院情報科学研究科青木研究室で実用化された位相限定相関法を用いた超高精度画像マッチング技術をベースとして、2つの投影画像から従来技術では検出困難とされた微細な残骨を、インラインでスピーディーに自動検知させる、インライン型X線自動検査システムを開発。



実用化試験システムの外観写真

「サポイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）活用促進セミナー」
3月5日（函館） 参加申込書

FAX：011-231-3143

株式会社北海道二十一世紀総合研究所〔担当：有我、小山〕あて
締切 平成30年3月1日（木）17：00

参加申込書		
会社・団体名		
連絡先	〒	
	TEL	FAX
	E-mail	
参加者	所属役職	氏名

※ご記入いただいた情報は、本説明会の運営のための用途以外に利用することはありません。
※参加票等は発行しませんので、事務局から特段の連絡がない限り、当日会場に直接お越しください。
※当日は受付にて名刺を1枚頂戴しますので、ご準備をお願いします。

【会場のご案内】

函館市産業支援センター
(函館市桔梗町 379 番地 32)

